

看護連盟 いばらき

第44号

2019年1月20日号

茨城県看護連盟
水戸市緑町 3-5-35
TEL 029(225)3992
発行者 会長 山本かほる
i-renmei@indigo.plala.or.jp



謹賀新年



目次

新年あいさつ	2
看護職議員活動報告	3
政務調査会と茨城県看護職、茨城県看護協会との県政要望懇談会	4
県政要望懇談会に参加して・平成30年度研修会報告	5
国会見学に参加して・茨城県看護連盟青年部委員会活動	6
平成30年度関東甲信越ポリナビワークショップin長野に参加して	7
厚生労働委員会委員長 石田まさひろ議員 2回目の施設巡回訪問	8~9
参議院議員 石田まさひろの軌跡	10
施設紹介・わたしたちの支部・癒しのコーナー・ただいま育メン中	11
編集後記	12

平成30年度会員数
(H30.12)

5,095名

西日本豪雨災害義援金のお礼

広島県、愛媛県、岡山県看護連盟の会長様よりお礼状が届きました。
皆様の温かいご支援ご協力ありがとうございました。

新年あいさつ

茨城県看護連盟会長あいさつ



新しい変革の年に向けて

茨城県看護連盟 会長 山本 かほる

謹んで新年明けましておめでとうございます。
会員の皆様には日頃から連盟活動にご協力を賜り心より感謝申し上げます。
お蔭様で会員も5千名を超える組織になり会員一人ひとりの連盟に対する認識も少しずつ浸透していることを感じております。

今年は、改元と参議院選挙が控えております。2025年に向けて社会保障システムのパラダイムシフトにより私達看護職も一緒に突き進んでいくことが求められています。そのためにも看護職は現場の問題や課題を提案し続け、看護職国会議員を国政の場へ送り政策の実現を図っていただくことが最大の命題です。

昨年12月には茨城県議会選挙が行われ、看護連盟が推薦・支援をしました県議の先生方が見事当選を果たされました。私達はこれを機に「石田まさひろを応援する会」の活動をさらに活発化し結束力を強め夏へ向けて邁進してまいります。

日本看護連盟会長あいさつ



穏やかな中に、力強さを秘めた看護連盟

日本看護連盟 会長 草間 朋子

健やかな新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。
4月には統一地方選、7月には第25回参議院選を控えた中で、日本看護連盟も、爽やかに明るく元気に新春を迎えました。

昨年は、あべ俊子先生が外務副大臣、たかがい恵美子先生が厚生労働副大臣、石田まさひろ先生が厚生労働委員会委員長に就任され、看護連盟にとっては最高にうれしい年となりました。各先生方の実力はもとより、皆様の日ごろの活動の成果により日本看護連盟および各都道府県の看護連盟の行動力、力強さを社会に示すことができましたことに心から感謝申し上げます。

今年も、看護・看護連盟の底力を発揮し、看護職を代表する国会議員の先生方を確実に国政の場に送り、しっかり活動していただき、専門職として最良の看護を提供できる環境を整えていく政策を実現していきましょう。選挙権は国民に与えられた権利です。「選挙に行こう」を合言葉に、目標達成に向けて活動してまいります。

茨城県看護協会会長あいさつ



公益社団法人茨城県看護協会 会長 相川 三保子

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、平成最後の新年を健やかに迎えのことに謹んでお慶び申し上げます。

日頃より山本会長はじめ連盟会員のみなさまには本会運営にあたり多大なるご支援・ご協力を賜り誠にありがとうございます。深く感謝申し上げます。

茨城県看護協会は昨年創立70周年を迎えました。これまでも社会とのつながり、社会からの大きな影響を受けながら看護職団体として、使命を果たしつつ大きく成長・発展して参りました。諸先輩が築き上げてきた歴史と伝統に敬意を表するとともにこれを節目として、公益社団法人茨城県看護協会の更なる発展になお一層貢献できるよう、尽力して参ります。新しい次のステップをそして、いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護の実現を目指し、共に歩んでいただければ幸いです。

看護職議員活動報告



外務副大臣 あべ 俊子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
茨城県看護連盟の皆様には日頃より温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は全国で多くの災害が発生し、私の地元岡山も被災いたしました。災害発生後は、すぐに断線された道路の状況を視察し、ライフライン復旧に何が必要かを確認し、国政へ持ち帰りました。未だ多くの方が心身のケアを求められています。引き続き、被災された皆さまへの支援に努めて参ります。

また昨夏は国際保健分野の視察にも励みました。バングラデシュ・ロヒンギャ難民キャンプに伺い、日本からの支援について考える機会を頂きました。その後、秋には内閣改造人事で、外務副大臣を拝命いたしました。安定した外交による国の安全は社会保障の基礎と考え、頂いた公務に邁進する所存です。

新しい年を迎え、我が国が抱える医療保健課題への思いが一層強くなるのを感じます。本年も、皆さまからの忌憚ないご意見を頂きながら、より良い「いのち・暮らし」づくりに努めて参りますので、ご指導賜りますようお願い申し上げます。



ロヒンギャ難民キャンプ視察



災害現場視察



厚生労働副大臣 参議院議員
たかがい 恵美子

茨城県看護連盟の皆様におかれましては、ますますご清祥のことと存じます。

年頭にあたり、謹んで初春のお慶びを申し上げます。

さて昨秋の内閣改造において、厚生労働副大臣を拝命しました。就任に際しては多方面から、心温まる激励を賜り身に余る光栄に存じます。平素にも増して、細部に心を尽くし職責を果たす所存です。

本年は皇室典範特例法により今生天皇が退位され、新たな御代に移ることとなります。また、2040年を照準とする社会保障制度構築のため、さらなる改革に着手する年でもあります。

いのちの最前線に立つ看護職にとって、まさしく働き方改革元年とも呼ぶべき重要な転換点となることが予測されます。一人一人の個性が活かされ、社会保障の実現者として生涯に渡る社会貢献ができるよう、これからも、しっかり現実を踏まえた対策を実現して参ります。

みなさまの真心に改めて感謝を申し上げますとともに、新年が健やかな笑顔に包まれるよき年となりますことを、心よりご祈念申し上げます。



副大臣として答弁



全国盲女性大会



参議院厚生労働委員長

参議院議員 石田 昌宏

茨城県看護連盟の皆様、新年おめでとうございます。

平素からの温かいご支援に改めて感謝申し上げます。お陰様で先の国会より、参議院厚生労働委員長を拝命いたしました。保助看法を含む厚生労働法制の真ん中で仕事をしています。委員会はまさに与野党論戦の場であって、国会議員の主戦場と言えます。しかし、国民にとっては議論が深まり法案がより良いものになることこそ重要ですから、委員長としてしっかりとその職責を果たしていく所存です。

この5年半、国会のない時は土日も含めて看護の現場を訪問し、皆様の声を国政に反映させて参りました。特に今は書類・記録の削減に取り組んでいます。皆様からいただく生の声が私の原動力です。今年もどんどんお聞かせください。皆様が元気になる政策を推進することで、日本を元気にしていきます。



女性医療職が公正に活躍できる入試・医療現場での環境確保に向けた要望を柴山文部科学大臣に提出



看護問題小委員会



厚生労働委員会(答弁者は高階副大臣)



衆議院議員 木村 弥生

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

私は、初当選からこれまで、医療分野をはじめ、待機児童、特別養子縁組、生活困窮者の就労支援、児童虐待防止対策、

看護職の労働環境改善等の政策課題に、強い思いを持って取り組んでまいりました。

これからも「誰もがより健康で活躍できる社会」の実現に向け、医療や子育て支援等の社会保障の充実に取り組んでまいります。また、看護の代表の一人として、看護と政治をつなぐ役割を果たすため、現場の最前線でいただいたご意見やご要望を政策に反映してまいります。

そして、政治家として、光の当たらずどころにあたたかな光を当てていく政治を忘れず、女性の視点、母親の視点、看護の視点を生かし、皆さまのご期待と信頼に応えてまい

ります。看護と看護職のため、精一杯汗をかいてまいります。

本年もご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



児童虐待対策

政務調査会と茨城県看護連盟、茨城県看護協会との県政要望懇談会

平成30年9月27日（木）、いばらき自民党の政調会長はじめ各部会役員の方との懇談会が開催されました。

（懇談会の内容）

主に平成31年度の県予算編成に関する、私達団体の要望や意見交換を行いました。

（看護連盟役員）



茨城県看護連盟 山本会長説明

要望事項

〔1〕 短期的事項

1. 准看護師から（正）看護師へのステップアップ支援〔新規〕
2. 勤務環境改善のため、院内・公私立保育所の増設や拡充等に加え、小規模病院等に単独設置は厳しいので、連携して設置できるなどの支援〔新規〕

（看護協会役員）

〔2〕 中長期的事項

1. 地域包括ケアシステムに対応する体制整備の強化について〔新規〕
 - 1) 高齢者介護保険施設の充実
 - 2) 介護保険施設における看護配置基準の見直し
 - 3) 地域包括ケア時代における保健師の人材確保について



茨城県看護協会 相川会長説明

政務調査会 正・副会長会議 出席県議

海野 透 先生	（自由民主党茨城県支部連合会 会長代行）
葉梨 衛 先生	（いばらき自民党 議員会長）
森田 悦男 先生	（いばらき自民党 政調会長）
横山 忠市 先生	（いばらき自民党 政調副会長）
村上 典男 先生	（いばらき自民党 政調副会長）
志賀 秀之 先生	（いばらき自民党 政調副会長）
先崎 光 先生	（いばらき自民党 政調副会長）

〔3〕 県政全般についての提言

1. 若者が定着できる魅力ある街作りや認知度アップが図られるよう検討してほしい。
2. 安心・安全な道路整備と拡充

政務調査会とは政党の政策部会のこと。正式名称は「自由民主党政務調査会」選挙で公約した政策や立法の立案をする党内機関である。

県政要望懇談会に参加して



第二副会長 秋葉 はついで

去る9月27日茨城県議会自民党議員室において、自民党県会議員森田悦男政調会長始め5名の自民党政務調査会各部会長等議員と茨城県看護連盟山本会長他役員3名・看護協会相川会長他役員4名が出席し、県政要望懇談会が行われました。

看護職の皆様から要望が多かった提案や喫緊の課題を直接会長から説明させていただきました。

内容については、准看護師養成所の新設阻止とキャリアアップ支援、看護職の人材確保促進と定着対策の推進、看護職再就業支援の充実、保育所の増設や拡充、保健師・助産師の人材確保等について要望させていただきました。

私達看護職が茨城県内で働きつづけられるよう、今の現場の状況などの意見交換の時間を設けていただいたことで、県会議員の先生方に生の声を届けることができ、ご理解いただくことができました。森田政務会長より今後の体制整備や予算計上に向け検討していただくことの回答を得られたことは、看護職が置かれている様々な課題が通じた結果と考えます。今後も私達から現場の声を出していきたいでしょう。



平成30年度研修会報告

看護管理者ワークショップ 8月24日(金)

演題：「看護管理者として求められる品格」

講師：淑徳大学看護栄養学科大学院 教授

陣田 泰子 先生



筑波学園病院
高野 紀子

今回、陣田泰子先生より、看護経験を概念化し、組織が大切とする価値に向かう過程について、講義をいただき、自分自身の看護の原点を振り返ることができた。

看護の現場において、看護師の感性的認識を言語化することは少なく、実践知を語る機会も乏しい現状があった。看護管理者自らの忘れられない看護経験を記述する時間をいただき、改めて、実践知が看護現場学として重要であることに気づくことができた。

私自身の忘れられない看護は、誰もが回復できないとあきらめていた患者に対し、チーム全体で、毎日語りかけ、日々のケアを行った結果、退院できた事例が思い出された。20年以上も前のエピソードではあるが、その時の看護の力がいかに素晴らしかったか、鮮明に思い出された。誰もが、自分の中に忘れられない患者の存在があると感じた。

今後は、看護を言語化していくことを意識し、チームで看護実践を語り合い、学び合うことで、組織の成長・発展に活かしていきたい。



会員研修会②

10月18日(木)

演題：「看護っておもしろい」

講師：ナイチンゲール看護研究所所長
徳島文理大学大学院看護学研究科 教授
金井 一薫 先生



社会福祉法人恩賜財団済生会
神栖済生会病院 看護部長
岩出 昌子

「— What it is and What it is not —
看護であることと看護でないこと」

今回、ナイチンゲールのプロフィールや「看護覚え書」の中の名言をたどる金井一薫先生の研修に参加し、看護師としてばかりではなく看護管理者・病院経営者としてのナイチンゲールを知ることができ、また「看護とは」「健康とは」について新鮮な気持ちで振り返る機会となりました。看護の最終形は在宅看護との考え、看護そのものは病室内または病棟内においてのみ教え得るというOJTの考え等々、看護はナイチンゲールに牽引されて発展してきたことに思いを新たにしました。

看護学校を卒業し、新人ナースの時代から患者中心の看護を実践したいという自分自身の基盤となっているのがナイチンゲールとヴァージニア・ヘンダーソンです。思考回路として確立され、看護基礎教育の重要性を強く感じています。

「Notes on Nursing — What it is and What it is not —」の題名にあるとおり、自分自身の看護実践が「看護である」かを深く考えられる看護師の育成に向け努力していきたいと考えさせられました。

国会見学に参加しました ✨ (平成30年10月4日(木))



県北医療センター高萩協同病院 瀧田 克己

看護連盟の研修会に参加し、国会議事堂内を見学する機会を得た。参議院の議場をはじめ、天皇陛下の御休所、広大なホール等を見学した。自分にとって国会議事堂とは、普段は足を踏み入れられず報道などで目にするだけの存在だった。しかし、日本の政治の中核であり発信地でもある場所に立ち、直接見ることで非常に感慨深く感じられた。

また、当日は二日前に第4次安倍内閣が発足したばかりであり、看護職から国会議員になった、あべ俊子氏が外務副大臣に、たかがい恵美子氏が厚生労働副大臣に就任が決定したと伝えられ、政治が大きく動こうとしている現場に居合わせたという感覚も得られ、政治をより身近に感じることもできた。

残念ながら予定していた自由民主党本部内の見学や新任の副大臣らとの面会は中止されてしまったが、これも大きな政変によるものと捉え、良い経験になったと思った。



県北医療センター高萩協同病院 井上 祐一

茨城県看護連盟国会見学会に参加して、今まで国会中継はテレビの中の世界であったが、実際に傍聴席に座ただけでも日本の中核であり身が引き締まる思いがした。昭和23年に保助看法制定より70年経過された。今後は、2025年より団塊の世代の方々が職場からいなくなるなどにより高齢化社会が進んでいく。2060年には人口1億人を割り込むことになり、高齢者は約4割になると言われている。その為、人手不足によりどう対応していくかが大きな問題となってくる。新しい改革人工知能の導入が考えられている為、人が機会を上手に取り入れ活用していく最先端の知識が必要であると考えられている。

茨城県選出国会議員の話から国会の中で、保助看法をはじめ医療に対する訴えを続け改革をしてきたからこそ現在があるわけであり、我々一人一人が選挙で投票を行い一人でも多くの議員を送り出すことの重大さを改めて感じる事ができた。



土浦協同病院なめがた地域医療センター 青年部委員 越山 義剛

10月4日に茨城県看護連盟主催の国会見学の研修会に参加し、国会議事堂、参議院議員会館を見学させて頂きました。国は看護職の働きやすい環境を整え、希望に満ちた看護の未来を実現してくれるだけでなく、看護の力を引き出してくれる場所です。国会内では、第4次内閣の就任式と重なった事もあり、予定されていたあべ先生、たかがい先生、石田先生、木村先生のご挨拶を聞く事は出来ませんでした。県内の国会議員の先生方のご挨拶を聞く事ができました。ご挨拶の中で、私達の看護職・医療現場というものを真剣に考え、より良い環境になるように努力して頂いている事を強く感じました。最後は議事堂内で食事を楽しみ、充実した一日となりました。また、看護連盟青年部委員の一員としても、今後を担う若手の声をもっと国政に届くような活動をしていきたいと思えます。

茨城県看護連盟青年部委員会活動



(担当役員) 第一副会長 吉田 寿和

日頃より、看護連盟活動に御協力を賜わり厚く御礼申し上げます。

茨城県看護連盟会員数は平成30年度現在5,094名で、その大半が20～40歳までの若手会員3,790名で全体の74.4%を占めております。

青年部委員会は2017年7月に設立され、県内の各施設から選ばれた20代～45歳までの若手看護師20名で構成しています。医療政策や政治に興味や関心を持ち、看護職の政策提言を学び、連盟活動の活性化と将来を担える人材の育成など良質な医療の実現を目指しています。また、若い看護職にポリナビや講演を行い、看護職に関わる政治や政策を知ることの必要性を訴えています。特に看護職に関わる医療問題の現状を学んで頂き、「今後看護職はどのような状況になるのか」「どのような行動をとる必要があるのか」について考えています。

今回、茨城県として初めて関東甲信越ポリナビワークショップ in 長野に山本会長はじめ私と秋葉第二副会長も共に参加致しました。今後青年部委員会活動の活発化を図る為、参加したことはとても良い機会となりました。

看護職に関わる問題については「看護職一人ひとりが考える」と言う事が重要です。青年部の活動を通し、一人でも多くの看護職が医療問題について考え、若手会員が看護と政治について理解を深められるような活動をしていきます。会員皆様の御協力をお願いします。

平成30年度関東甲信越ポリナビワークショップin長野に参加して

Poli-Navi FES!!

日時：平成30年10月6日(土)
13:00～16:30
会場：メルパルク長野



青年部委員会 委員長 池田 康幸
(東京医科大学茨城医療センター)

関東甲信越ポリナビワークショップが10月6日長野県で開催され茨城県看護連盟青年部から10名参加させていただきました。

午前中に関東甲信越青年部ブロック会議が行われ他県の青年部の方々と情報交換・共有ができました。

午後からは、1都9県で思考をこらしたブースが開かれ、茨城県青年部も「業務の中での質問や疑問をぶつけてみよう」をテーマに参加した方々と多くの意見交換を行うことができました。ブース開催は3回行い、2回のテーマは「就業前の時間外勤務」でした。働く環境が違っていても抱える問題や悩みは一同じだと実感いたしました。

3回目のブース開催時には石田昌宏先生も参加され「記録について」がテーマとなり、記録の簡略やこれからの記録について情報共有することができました。

関東甲信越ポリナビワークショップは毎年開催され担当県が持ち回りで運営されます。2019年度は茨城県で開催が予定されているため、今回参加し学んだこと、気づいたことを青年部委員会で情報共有し茨城県での開催に向け準備を進めていこうと考えております。



青年部委員 横須賀 淳子
(水戸赤十字病院)

ポリナビワークショップに参加するにあたり茨城県看護連盟が課題としたのは、「皆が働きやすい職場を政治の力で解消できることはないか」を課題としました。どのよう

にしたら皆の気持ちを知ることができるか、また、看護職代表議員へ伝える事ができるかを約6カ月間考えてきました。1都9県の参加の中、各県が思考を凝らしたブースが並び、とても緊張しました。石田先生にも茨城県ブースへ来て頂き、現場の声として、勤務就業前後の手当、子育て支援、給料に関して、記録物の多さ、電子カルテによる業務の回転の個人差等様々な意見がありました。石田先生からは、詳細な記録の必要性、看護必要度の必要性、最新機器があれば解決できるのか、最新機器を導入する予算、看護は人間が行わなければいけないのか等、意見や考え方を聞くことができました。政治によってこれからの看護は、大きく変わるのではないかと、期待を感じました。今回のワークショップにより、全国の看護師が抱える問題は、同じであることがわかり、その声をもっと政治に届けるためには、看護職国会議員を応援していかなければならないと思いました。また、一人ひとりの悩みは全員が感じることであり、1病院が抱えている問題は、全国の病院が抱えている問題でもあることを学ぶことができました。

今後も現場の声を届けていきたいと思います。





厚生労働委員会委員長 石田まさひろ議員

10:00 白十字総合病院



鹿嶋第2支部長
谷川 秀子

石田先生の鹿行地区への訪問が決まり大変嬉しく、この機会を頂けた事に感謝致します。

白十字総合病院職員22名と神栖済生会病院4名の職員が参加し、連盟役員と青年部でお迎えしました。石田先生が両手を広げて満面の笑みで、逆に私たちを迎え入れ笑顔にしてくださいました。

部署訪問では、地域包括ケア病棟と療養病棟を見学して頂き、現状の説明をしました。意見交換では、「現場の声」を親身に聴



いて頂き、一つひとつ分かりやすく丁寧に答えて下さいました。私たちの職場の改善をしていくには、「自分たちの声を国会に届けていく必要があります、若い世代に広めていく事が大切です。」と話されました。

石田先生と直接関わられた事により、先生を身近に感じる事ができ、職員に石田先生を知ってもらう事が出来たと思います。今後は職員全員で“伝え広め・応援”していきます。

最後に石田先生と、看護連盟の皆様と写真撮影を行い、握手を交わし終了しました。遠くまで足を運んで頂きありがとうございました。



11:30 介護老人保健施設 鹿野苑



鹿嶋第1支部長
本宮 裕美

冬曇りの寒い中、介護老人保健施設鹿野苑に石田昌宏先生をお迎えする事が出来ました。

鹿嶋第1支部からは、セ・シボンかしまより1名、小山記念病院より4名、鹿島病院より4名、支部長を含め10名で参加いたしました。

最初は、施設内を見学して頂き、脳血管障害者や認知症の方が多く、

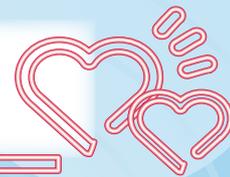


身体抑制ゼロで一人ひとりに手がかり、看護職員、介護職員が足りていない事をお伝えしました。

その後、会議室では16名で意見交換会を行いました。現在の先生の活動については、循環器疾患等に対する予防体制に力を入れている事、介護保険での処遇の見直し、外国人の受け入れ、夜勤交代制の考え方等、皆で聴くことができました。会員からは、各施設での問題を聴いて頂き、最後に一人ひとりと握手をして、あっという間の1時間でした。石田先生の気さくな人柄もあり、直接先生と意見交換をすることができ、とても有意義な時間でした。ありがとうございました。



2回目の施設巡回訪問 平成30年12月16日(日)



14:50 土浦協同病院なめがた地域医療センター



鹿嶋第3支部長
鳥畑 好江

当日は事務副部長をはじめ看護師23名が参加し、石田先生と交流を深めることが出来ました。準備から幹事長が指揮をとり、青年部委員、リーダー・サブリーダーが中心となり進めました。過密スケジュールの石田先生を癒す金魚をメイ



ンテーマとした会場作り、立体的金魚からタオル金魚、のれん金魚からウェルカムボードの作成等、皆で成功させようと一致団結して出来ました。当日の意見交換は全員の間が見えるよう円卓とし、当院が直面する医師・看護師不足、高性能な設備が活用できず地域のニーズに応えられない現状、働き方改革・労働時間の改善について伝えました。石田先生はその一つひとつに対し今後の日本の現状と取り組みを丁寧に説明してくださいました。また、現在閉鎖中のICUにご案内し、2年前まで医療が行われていた生々しい現場を目の当たりにされ提案をいただきました。参加した看護師は石田先生を身近に感じ、現場の声を受け止めていただけたことに感謝し、今後も応援していきたいという気持ちがさらに強くなりました。

このような機会を与えてくださり、ありがとうございました。



役員コメント

今回は限られた時間の中で、3施設を訪問して下さいました。施設では現場の声を受け止めて頂き、有意義な意見交換ができ、先生からもたくさんのアドバイスを頂きました。

先生の優しく気さくな人柄が身近に感じられ、皆さんと良い交流が深められたと思います。

これからも私たちの現場の声を国政に反映させて頂くために、石田先生をしっかり応援していく必要があると強く感じました。

参議院議員 石田まさひろの軌跡



🐟 平成31年度予算概算要求

来年度の予算の概算要求が発表されました。厚生労働関係の要求額は31兆8956億（前年度+7694億）。働き方改革推進、医師不足是正、受動喫煙対策など法改正後の政策、データヘルス、災害対策、児童虐待防止など昨今の課題が多い分野の予算拡充が求められています。

❖ 特定行為に係る研修事業

（5億1600万、前年3億4700万）

研修機関設置や運営に必要な経費が支援されます。また、研修制度の普及・理解促進や、受講者確保を目的としたシンポジウム開催や情報発信の支援に対する予算も新たに要求されています。

❖ 看護教員などの養成支援事業

（8000万、前年800万）

看護教員養成の際のeラーニング実施に予算増額を要求されています。医療・看護の変化を踏まえ、内容の再検討・新たな内容の作成に支援がされます。

看護教員養成の際のeラーニング実施に予算増額を要求されています。医療・看護の変化を踏まえ、内容の再検討・新たな内容の作成に支援がされます。

❖ 看護業務効率化の取組

（2900万、新規）

看護の専門性が発揮できるよう、働き方改革、生産性向上を進めます。初年度は医療施設での業務効率化に向けた先進的取組を募集・表彰し、周知します。

❖ 復職支援

（3億4900万、前年2億1100万）

潜在看護師の就業促進、人材確保のため、都道府県ナースセンターの取組が支援されます。サービスの質向上、訪問看護師確保のため相談員の研修や職業紹介システム（eナースセンター）の整備に予算拡充を求めています。

その他、在宅看取りの研修事業、看護職確保対策、外国人看護師受入れ事業等にも予算要求がされました。この結果を受け、9月11日に党・看護問題小委員会が開かれます。

（出典：参議院議員 石田まさひろ活動報告No.040）

🐟 参議院厚生労働委員長を拝命

第197回臨時国会が始まりました。冒頭の本会議で、私は議長より厚生労働委員長を指名され、拝命しました。国会役員の一ひとりになる重責です。立法府を代表する自覚をもって精一杯務めてまいります。

今国会では、厚生労働委員会には水道法の一部改正案が提出されています。この法案は先の通常国会で衆議院の審議を終え参議院で継続となったものです。

また、法案ではないのですが、中央官庁や地方行政での障害者雇用の水増し問題があります。先日行われた厚生労働委員会の理事懇談会でも、与野党から強い意見が出ました。この問題への対応も必要です。

委員長は、公正中立に委員運営して活発な議論と明確な結論を出すことが仕事です。頑張ります。



（出典：参議院議員 石田まさひろ活動報告No.041）

施設紹介 つくばセントラル病院



看護部長 木樽 京子

当院は牛久市にあり、医療・介護・福祉の複合体として、急性期～在宅まで地域に根ざしたケアミックス型の病院です。地域の方々が、その人らしく安心して暮らし続けられる様「一人の人を大切に、安全・安心な看護」を合言葉に、チームワークを大切に風通しの良い看護部作りに尽力しています。子育て支援病院として働きやすい環境作りにも力を入れており、24時間院内保育園を完備し、勤務体制等の個別相談に応じています。私自身、入職してから28年間3人の子育てと両立できた事に感謝し、皆さんを応援する日々です。また、新人や中途入職看護師も多いので、それぞれに適した教育体制を整え、幅広く門戸を開き、笑顔でイキイキと働ける職場環境作りを目指しています。



わたしたちの支部



県南第2支部長 草間 由香理

県南第2支部は取手、竜ヶ崎、牛久地区からなる県南地域の支部で会員は240名います。240名の中には、お隣の千葉県在住の会員の方もいます。そのため、茨城県での選挙の得票数には反映されませんが、来年度の国政選挙では大いに活躍してくれると思います。

第2支部の活動としては、不定期ではありますが、ミニ研修会やリーダー研修を開き看護連盟の活動を多くの会員の方に知ってもらえるよう働きかけています。

私たち看護の代表を国政に、活躍できる得票数が得られるよう会員の皆様にしっかりと伝え広めて参りたいと思います。



癒しのコーナー



宮本病院 山口 洋子

H29年9月、我が家に新しい家族、愛犬：うに(トイプードル1歳)が増えました。名前の由来には1つエピソードがあります。「うに」を迎える3ヶ月前、同犬種の「ウラン」を不慮の事故で亡くしました。自責の念と悲しみで心がどん

底に沈んでいた私を家族が暖かく支えてくれ、縁あって2頭目を迎えることができたのです。1頭目の「ウラン」が居てくれたから2頭目に巡り合うことができた…という思いから(愛称)うーちゃん²号で「うに」と名付けました(笑)。うにがいるだけで家庭内は和やかになり、夫婦・家族の会話が増え、我が家は「幸せホルモン」いっぱいです!!円らな瞳と愛らしい仕草に毎日癒されています♡



ただいま育メン中



古河赤十字病院 看護師
栗山 卓也

H29年12月25日。人生で一番のクリスマスプレゼントが届いた。2314gの男の子。

現在は保育園にも通っている。妻が身体に障害があり、送迎が困難であるため、送迎は基本的に私の仕事。職場でも時短勤務となり、迎えも同僚の協力もあり定時に帰宅し滞りなく行えている。夜勤の際は町のボランティアを活用している。家での仕事は、ご飯を食べさせ、お風呂、寝かしつけること。仕事から帰宅しても疲れていたことを忘れさせてくれる笑顔が本当にたまらない。明日も仕事を頑張れる活力になっている。

育児、仕事を両立できているのは職場、地域、そして何より妻との協力があることでできている。自分の周りの環境に感謝し、これからもイクメン看護師として頑張っていきたい。



平成31年度 茨城県看護連盟会員 入会受付中

日本看護連盟公認キャラクター

みんな集まれ! 楽しいよ!!



レンコ

カンタ

平成31年度

皆さまのご入会をお待ちしております。

- 正会員** 年会費 7,000円 (日本看護連盟会費 5,000円・茨城県看護連盟会費 2,000円)
・看護協会会員であること。
- 特別会員** 年会費 7,000円 (日本看護連盟会費 5,000円・茨城県看護連盟会費 2,000円)
・正会員の経歴を有し、未就業で現在看護協会に入会していない方。
- 賛助会員** 年会費 1,000円
・看護連盟の趣旨に賛同して頂ける方であれば、どなたでも入会できます。
- 学生会員** 年会費 無料
・看護学生で、看護連盟の趣旨に賛同して頂ける方。

お問合せ 茨城県看護連盟ホームページもご覧下さい。 <http://www8.plala.or.jp/i-renmei/>

〒310-0034 茨城県水戸市緑町3-5-35 TEL: 029-225-3992 FAX: 029-232-8648 E-mail: i-renmei@indigo.plala.or.jp

「石田まさひろを応援する会」の入会について

連盟会員100%の入会を目指しています。
一般の方の入会も同時に受け付けています。

～会員皆様のご協力を
よろしくお願い致します～

連盟Tシャツ by 茨城県



東洋羽毛「睡眠セミナー」無料サービスのご案内

良質な睡眠は、健康で充実した
毎日を過ごす基本です!

◆こんなお悩みはありませんか? → ◆睡眠セミナーを無料で開催しています

- ・夜勤明け、体は疲労しているのになかなか眠れない。
- ・寝起きが苦手で起床時間ギリギリまで起きられない。
- ・睡眠時間は長いのに、眠りの質に満足できない。



東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した講師による充実したセミナーを開催し、職場の問題解決のお手伝いをさせていただいております。

*研修内容及び研修時間はご相談に応じさせていただきます。

TUK 東洋羽毛北関東販売株式会社

〒310-0842 茨城県水戸市けやき台 2-19-2 www.toyoumo.co.jp

茨城営業所 **0120-461590**

セミナーに関するご相談はお気軽にご連絡ください!

編集後記

新年あけましておめでとうございます。
日頃より看護連盟の活動に御協力・御理解をいただきありがとうございます。
今年は参議院選挙もあります。看護の声を政界に届け、明るい未来の実現に向かって共に頑張っていきましょう。

(広報担当 幹事 宮澤たま子)

